

## 生物多様性あかし戦略の改定状況等について

本市では、2011年(平成23年)3月に「生物多様性あかし戦略」を策定し、生物多様性の保全にかかる施策を実施してきました。

2023年(令和5年)3月に「生物多様性国家戦略」が改定され「ネイチャーポジティブ(自然再興)」を掲げたことを踏まえ、国家戦略との整合を図るため、「生物多様性あかし戦略」の改定につぎまして、2023年(令和5年)10月に明石市環境審議会に諮問しました。

当初は、2025年(令和7年)3月に答申を受け、公表する予定でしたが、自然環境部会での意見を踏まえ、明石の自然環境を多くの市民に知っていただくため、ネイチャーツアー(自然体験会)の機会を増やすなどの取組を進めるために審議期間を延長し、2025年(令和7年)12月に明石市環境審議会から答申を受け改訂版を策定・公表する予定です。

### 1 改定の進め方

#### (1) 明石市環境審議会自然環境部会における審議

自然環境部会委員に加え、必要に応じて、外部から有識者等に当部会へ参画を要請し、審議いただきます。

#### (2) 市民からの意見聴取

- ・ 市民へ明石の自然環境を知っていただく機会としてネイチャーツアー(自然体験会)を開催します。その際、参加者アンケートにより意見聴取を行います。
- ・ 市民ワークショップを開催し市民の意見を整理します。

#### (3) 生物多様性あかし戦略推進会議の活用

明石市域で活動する専門家や市民団体等の本市の自然環境を熟知している方などからの意見を聴取し整理します。

### 2 明石の自然環境を知っていただく機会(ネイチャーツアー等)の開催状況

あかしの自然を学ぼう	2024年1月14日	参加者 21人
ネイチャーツアー(野鳥編)	2024年2月4日	参加者 25人
ネイチャーツアー(海岸編)	2024年6月29日	参加者 27人
ネイチャーツアー(里山編)	2024年11月3日	参加者 37人
ネイチャーツアー(海岸編)	2025年5月31日	参加者 30人

### 3 ネイチャーツアー等における参加者アンケートの主な意見

<b>◆ 明石の自然について、知ったこと、感じたこと</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然豊かな里山や自然の浜があり、そこにたくさんの生きものがいることを知った。</li> <li>・ 明石にも外来種が入っていることを知った。</li> <li>・ 里山が残っていることをうれしく思う。</li> <li>・ 自然が減少、特に宅地開発に伴う市街化が顕著、失われたものが多く危機を感じる。</li> <li>・ 自然とのふれあいが少なくなった。</li> </ul>	
<b>◆ 明石の自然をどうしたいか</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開発優先ではなく自然を大切にす都市として自然を守る。</li> <li>・ 生物多様性が豊かになってほしい。</li> <li>・ 生き物も人も豊かなまちにしたい。</li> <li>・ 子どもたちに残して、引き継いでいきたい。</li> <li>・ この自然をいつまでも残したい。</li> </ul>	
<b>◆ あなたができること</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然を知るために観察会への参加や清掃活動などボランティアに参加する。</li> <li>・ 勉強会などに参加し自然について知り、知ったことを身近な人に伝えたい。</li> <li>・ 自然に目を向け、意識することが大切だと思う。</li> <li>・ 子どもと環境に対する意識を共有する。</li> <li>・ 自然を残すために何ができるかを考え、残す活動につなげたい。</li> </ul>	
<b>◆ 行政に求めること</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農地やため池、里山を守る自然と調和した都市づくりをしてほしい。</li> <li>・ 唯一の大切な里山を開発することはせず、全体をしっかりと残してほしい。</li> <li>・ 自然と触れ合う機会を増やしてほしい。</li> <li>・ 若い人が里山の手入れに参加できるように、予算でバックアップしてほしい。</li> <li>・ 明石の魅力である豊かな自然をもっと広報紙やSNSで発信する。</li> </ul>	

※ いただいた意見等は、今後開催する明石市環境審議会自然環境部会における審議に活用の上、生物多様性あかし戦略の改定に反映していく予定です。

### 4 今後の予定

日 程		内 容	
2025 年	6 月	生活文化常任委員会	進捗状況についての報告
		市民ワークショップ	市民の意見の整理
	7 月	環境審議会自然環境部会	構成・課題の整理
		生物多様性あかし戦略推進会議	市内で活動する専門家等の意見整理
	8 月	環境審議会自然環境部会	骨子案の意見交換
	9 月	生活文化常任委員会	素案についての報告
	10 月	パブリックコメント	市民の意見公募
	11 月	環境審議会自然環境部会	最終案の意見交換
	12 月	生活文化常任委員会	最終案についての報告
		環境審議会	答申
策定・公表			

## 5 ネイチャーポジティブ宣言について

今の地球は、過去1,000万年間の平均と比べて10倍～100倍もの凄まじい速度で生物が絶滅(図1)していきなど、いわゆるマイナスの状態にあります。国では、これまでの自然環境保全の取り組みだけでなく、経済から社会、政治、技術までの全てにわたって改善を促していくことで、自然が豊かになっていくプラスの状態に反転(図2)させることを目指しています。

本市においても、陸域の生き物277種が絶滅の危機にあると明石市レッドリストに選定されているなど、生物多様性の喪失が進行しています。海域でも同様に、近年、いかなごやたこ類など漁獲量の減少が大きな課題になっていますが、豊かな海を取り戻すには生物多様性をマイナスからプラスに反転し、海の中の生態系を改善しなければなりません。

それには、海だけの取り組みでなく、陸から海へと続く、水とみどりでつなぐ命のネットワークを強化することが重要です。これらを実行するには、行政だけではなく市民や企業、団体などの様々なステークホルダーに参加いただくことが必要不可欠です。

そこで、本市として率先して「ネイチャーポジティブ宣言」を表明し、これまでの生物多様性の取組を一層進めて行くと共に、さまざまなステークホルダーと連携・共創を深めることでネイチャーポジティブの実現を目指します。

### (1) 宣言名

(仮称) 水とみどりでつながる あかしネイチャーポジティブ宣言

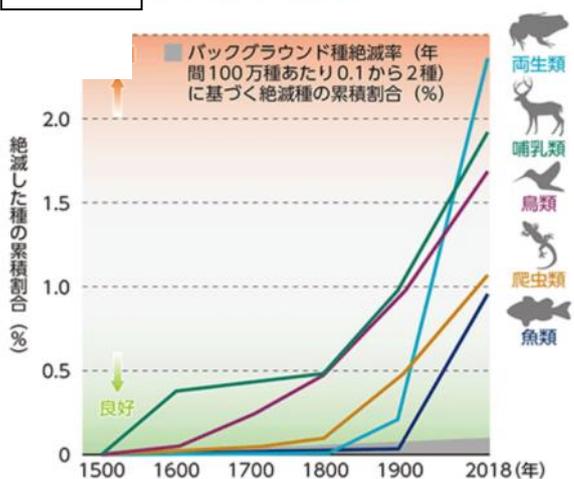
### (2) 表明方法

ネイチャーポジティブ宣言式

### (3) 時期

令和8年1月頃

図1 1500年以降の絶滅

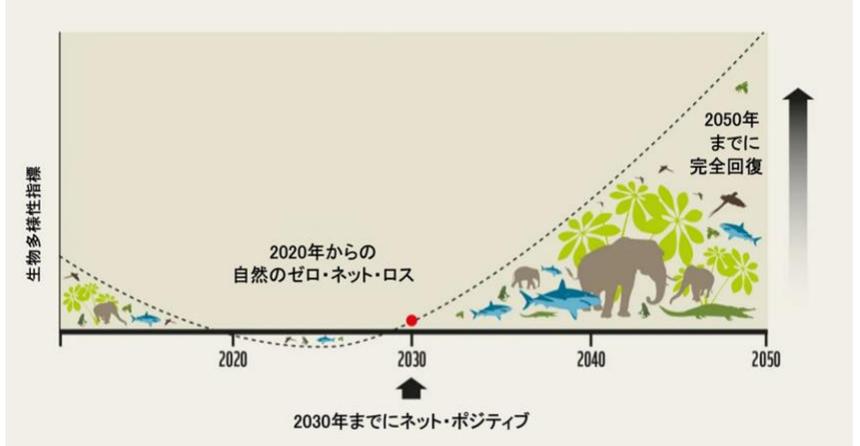


注：1500年以降の脊椎動物の絶滅種の割合。爬虫類と魚類の割合は全種評価に基づくものではない。

資料：IPBESの地球規模評価報告書政策決定者向け要約より環境省作成

図2

## 自然のための世界目標：2030年までのネイチャーポジティブ



2030年までのネイチャーポジティブへの軌跡。CC BY-SA 4.0 出典：www.naturepositive.org